

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月10日

上場取引所 東大

上場会社名 日立造船株式会社

コード番号 7004 URL <http://www.hitachizosen.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 古川 実

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 森方正之

TEL 06-6569-0022

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	181,329	△5.3	7,647	48.9	10,178	255.3	9,230	—
21年3月期第3四半期	191,421	—	5,137	—	2,865	—	△3,624	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	11.62	9.79
21年3月期第3四半期	△4.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	334,002	94,518	24.0	101.04
21年3月期	367,472	85,843	19.3	89.05

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 80,278百万円 21年3月期 70,757百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

22年3月期の期末配当は未定であります。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	290,000	△2.9	12,000	2.8	13,000	44.6	10,000	590.6	12.59

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 一社 (社名) 除外 2社 (社名 日立造船メカニカル(株)、(株)日立造船茨城発電所)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第3四半期 | 796,073,282株 | 21年3月期 | 796,073,282株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第3四半期 | 1,522,265株 | 21年3月期 | 1,448,905株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第3四半期 | 794,573,018株 | 21年3月期第3四半期 | 794,766,929株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
- (2) 期末配当については、今後の収益状況を見極めたうえで検討することとしており、現時点では未定であるため、配当予想の開示が可能となった時点で速やかに開示することといたします。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における経済情勢は、各国の景気対策により一部で持ち直しの動きが見られたものの、企業収益の悪化に伴う設備投資の減少や雇用情勢の悪化等、依然として厳しい状況が続きました。

こうした中で、当社グループでは、平成20年度から3か年の中期経営計画「Hitz Innovation II」のもと、高収益企業の実現に向けて、ポートフォリオ経営の推進、新事業・新製品開発と設備投資拡大、人材育成策の強化と人材確保・活用といった重点施策を鋭意推進するとともに、収益の源泉となる受注の確保に向けて、官需と民需、内需と外需、新設工事とサービス工事のそれぞれについて、経済情勢や経営環境に応じて、バランスの取れた経営を推進し、好不況に左右されない強靱な企業体質の確立を図ってまいりました。

以上のような取り組みを進める中で、当第3四半期連結累計期間の受注高は、機械・プロセス機器部門、鉄構・建機部門及びその他部門で前年同四半期より減少したものの、環境・プラント部門で大口案件を受注したことから、前年同四半期より20,580百万円増加の224,808百万円となりました。一方、売上高は、鉄構・建機部門が増加したものの、その他の各部門が減少したことから、全体としては、前年同四半期より10,092百万円減少の181,329百万円となりました。

損益面では、営業利益は、前年同四半期を上回る7,647百万円となりました。また、持分法による投資利益の計上等により、経常利益は前年同四半期を大幅に上回る10,178百万円となりました。ここから税金費用等を差し引いた結果、四半期純利益は、前年同四半期の損失計上から転じて、9,230百万円の利益計上となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

①環境・プラント部門

環境部門の売上減少により、売上高は前年同四半期を下回る65,924百万円となりました。また、営業損益は、前年同四半期の利益計上から転じて、614百万円の損失計上となりました。

②機械・プロセス機器部門

関連する民間需要が低迷している状況から、売上高は前年同四半期を下回る70,981百万円となりました。一方で高採算案件の売上等により、営業利益は前年同四半期を上回る7,363百万円となりました。

③鉄構・建機部門

公共投資が比較的堅調に推移する中で、売上高は前年同四半期を上回る21,554百万円となりました。また、営業損益では、前年同四半期の損失計上から転じて、523百万円の利益計上となりました。

④その他部門

売上高は前年同四半期を下回る22,869百万円となりました。また、営業利益は591百万円となりました。

なお、当社グループの事業の性質上、年度末に完成する工事の割合が大きく、売上高が連結会計年度末に集中することから、業績は季節の変動が大きくなる傾向があります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、売上債権の回収による受取手形及び売掛金の減少等により、前期末に比べて33,470百万円減少し、334,002百万円となりました。負債の部は、支払手形及び買掛金の減少等により、前期末に比べて42,146百万円減少し、239,483百万円となりました。また、純資産の部は、四半期純利益の計上等により、前期末に比べて8,675百万円増加し、94,518百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の回収があったものの、仕入債務の支払いによる減少等により、1,079百万円の資金減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資による支出等により、9,779百万円の資金減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入等により、5,334百万円の資金増加となりました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は44,568百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の業績は概ね順調に推移しており、平成22年3月期通期の業績予想につきましては、前回(平成21年11月5日)公表値からの変更はありません。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

前連結会計年度において、当社の特定子会社であった日立造船メカニカル株式会社及び株式会社日立造船茨城発電所は、平成21年4月1日付で当社に吸収合併されたため、当該2社を連結の範囲から除外しております。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（簡便な会計処理）

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等により一般債権の貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行っております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。また、一部の連結子会社は、固定資産の年度中の取得、売却または除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定しております。

④法人税等ならびに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、一部の連結子会社を除き、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用しております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

（会計処理基準に関する事項の変更）

受注工事に係る収益の計上基準については、従来、連結財務諸表提出会社は、工事期間が1年以上で、かつ、契約金額が5億円以上、一部の連結子会社は、工事期間が1年以上で、かつ、契約金額が一定額以上の長期請負工事については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,706百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ954百万円増加しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,332	51,306
受取手形及び売掛金	69,126	96,584
有価証券	40	86
商品及び製品	390	550
仕掛品	42,760	41,992
原材料及び貯蔵品	4,002	3,889
その他	14,735	18,623
貸倒引当金	△666	△820
流動資産合計	176,723	212,213
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	33,142	34,294
土地	71,226	71,231
その他(純額)	27,181	27,750
有形固定資産合計	131,549	133,276
無形固定資産		
その他	1,574	1,622
無形固定資産合計	1,574	1,622
投資その他の資産		
その他	25,235	21,311
貸倒引当金	△1,423	△1,466
投資その他の資産合計	23,812	19,844
固定資産合計	156,937	154,743
繰延資産	342	515
資産合計	334,002	367,472

（単位：百万円）

	当第3四半期連結会計期間末 （平成21年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年3月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	48,644	71,765
短期借入金	25,342	28,798
1年内償還予定の社債	16,819	1,000
未払法人税等	703	1,884
前受金	31,248	30,788
保証工事引当金	4,503	5,341
工事損失引当金	1,620	2,490
訴訟損失引当金	5,694	13,913
その他	26,902	41,220
流動負債合計	161,479	197,204
固定負債		
社債	16,176	32,971
長期借入金	50,562	40,747
退職給付引当金	7,613	6,942
負ののれん	516	898
その他	3,135	2,864
固定負債合計	78,004	84,424
負債合計	239,483	281,629
純資産の部		
株主資本		
資本金	45,442	45,442
資本剰余金	5,973	5,973
利益剰余金	29,927	20,708
自己株式	△194	△186
株主資本合計	81,149	71,937
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△145	△376
繰延ヘッジ損益	△254	△402
土地再評価差額金	△155	△155
為替換算調整勘定	△315	△244
評価・換算差額等合計	△870	△1,180
新株予約権	0	—
少数株主持分	14,239	15,085
純資産合計	94,518	85,843
負債純資産合計	334,002	367,472

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	191,421	181,329
売上原価	163,560	152,652
売上総利益	27,861	28,677
販売費及び一般管理費	22,723	21,029
営業利益	5,137	7,647
営業外収益		
受取利息	120	38
受取配当金	215	177
持分法による投資利益	—	2,796
その他	1,195	1,509
営業外収益合計	1,531	4,522
営業外費用		
支払利息	1,333	1,105
持分法による投資損失	677	—
その他	1,792	886
営業外費用合計	3,803	1,991
経常利益	2,865	10,178
特別利益		
固定資産売却益	524	—
特別利益合計	524	—
特別損失		
訴訟損失引当金繰入額	4,901	—
特別損失合計	4,901	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,511	10,178
法人税等	1,688	1,498
少数株主利益又は少数株主損失(△)	424	△550
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,624	9,230

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,511	10,178
減価償却費	5,174	6,200
貸倒引当金の増減額(△は減少)	184	△197
退職給付引当金の増減額(△は減少)	874	670
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△673	△869
訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	4,901	△8,219
その他の引当金の増減額(△は減少)	△1,003	△849
受取利息及び受取配当金	△335	△216
支払利息	1,333	1,105
持分法による投資損益(△は益)	677	△2,796
固定資産売却損益(△は益)	△524	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△126	△34
投資有価証券評価損益(△は益)	369	1
売上債権の増減額(△は増加)	22,658	27,588
たな卸資産の増減額(△は増加)	△17,103	△646
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△5,750	3,418
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,334	△23,254
未払費用の増減額(△は減少)	△9,218	△9,840
前受金の増減額(△は減少)	13,734	459
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△4,461	△4,560
その他	805	3,082
小計	5,670	1,219
利息及び配当金の受取額	521	570
利息の支払額	△1,215	△1,113
法人税等の支払額	△3,202	△1,756
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,774	△1,079
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,056	△6,581
有形固定資産の売却による収入	980	23
無形固定資産の取得による支出	△177	△202
投資有価証券の取得による支出	△509	△1,350
投資有価証券の売却による収入	517	57
その他	△834	△1,724
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,079	△9,779
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,293	△3,027
長期借入れによる収入	16,050	20,300
長期借入金の返済による支出	△14,326	△11,063
社債の償還による支出	△500	△800
その他	△114	△73
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,184	5,334
現金及び現金同等物に係る換算差額	△130	△2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△8,620	△5,525
現金及び現金同等物の期首残高	54,229	50,094
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△49	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	45,559	44,568

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	環境・プラント （百万円）	機械・プロセス 機器 （百万円）	鉄構・建機 （百万円）	その他 （百万円）	合計 （百万円）	消去または全 社（百万円）	連結 （百万円）
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上 高	71,036	75,002	17,159	28,223	191,421	—	191,421
(2) セグメント間の内部売 上高または振替高	1,172	16	41	2,676	3,906	△3,906	—
計	72,209	75,018	17,200	30,899	195,328	△3,906	191,421
営業利益（または営業損 失（△））	173	5,620	△1,815	1,216	5,194	△57	5,137

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	環境・プラント （百万円）	機械・プロセス 機器 （百万円）	鉄構・建機 （百万円）	その他 （百万円）	合計 （百万円）	消去または全 社（百万円）	連結 （百万円）
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上 高	65,924	70,981	21,554	22,869	181,329	—	181,329
(2) セグメント間の内部売 上高または振替高	155	493	411	2,214	3,275	△3,275	—
計	66,079	71,474	21,966	25,084	184,605	△3,275	181,329
営業利益（または営業損 失（△））	△614	7,363	523	591	7,864	△216	7,647

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	アジア	中南米	ヨーロッパ	その他	計
I. 海外売上高（百万円）	22,478	2,406	2,320	5,805	33,010
II. 連結売上高（百万円）					191,421
III. 連結売上高に占める海外売上 高の割合（%）	11.7	1.3	1.2	3.0	17.2

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	アジア	中南米	ヨーロッパ	その他	計
I. 海外売上高（百万円）	19,586	1,129	960	12,292	33,969
II. 連結売上高（百万円）					181,329
III. 連結売上高に占める海外売上 高の割合（%）	10.8	0.6	0.5	6.8	18.7

- （6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

(1)平成22年3月期 第3四半期 連結業績補足資料

①連結損益計算書

(単位:百万円)

	20年度第3四半期 累計期間		21年度第3四半期 累計期間		比較		
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益	
売上高・営業損益	環境・プラント	71,036	173	65,924	△ 614	△ 5,112	△ 787
	機械・プロセス機器	75,002	5,620	70,981	7,363	△ 4,021	1,743
	鉄構・建機	17,159	△ 1,815	21,554	523	4,395	2,338
	その他	28,223	1,159	22,869	375	△ 5,354	△ 784
	合計	191,421	5,137	181,329	7,647	△ 10,092	2,510
営業外損益	金利負担額		△ 998		△ 890		108
	持分法による投資利益		△ 677		2,796		3,473
	その他		△ 597		625		1,222
	計		△ 2,272		2,531		4,803
経常利益			2,865		10,178		7,313
特別利益			524		—		△ 524
特別損失			△ 4,901		—		4,901
税金費用・少数株主利益			△ 2,112		△ 948		1,164
四半期純利益			△ 3,624		9,230		12,854

※営業損益の「その他」には消去を含んでおります。

②連結受注高・受注残高

(a) 連結受注高

(単位:百万円)

事業セグメント	20年度第3四半期 累計期間	21年度第3四半期 累計期間	比較
環境・プラント	79,927	126,344	46,417
機械・プロセス機器	66,621	52,620	△ 14,001
鉄構・建機	22,731	21,535	△ 1,196
その他	34,947	24,307	△ 10,640
合計	204,228	224,808	20,580

(b) 連結受注残高

(単位:百万円)

事業セグメント	21年3月末	21年12月末	比較
環境・プラント	119,934	180,355	60,421
機械・プロセス機器	145,435	127,074	△ 18,361
鉄構・建機	30,995	30,977	△ 18
その他	16,823	18,261	1,438
合計	313,189	356,668	43,479

③連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	21年3月末	21年12月末	比較
現 金 及 び 預 金	51,306	46,332	△ 4,974
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	96,584	69,126	△ 27,458
棚 卸 資 産	46,431	47,152	721
有 形 ・ 無 形 固 定 資 産	134,898	133,123	△ 1,775
そ の 他	38,253	38,269	16
資 産 の 部 合 計	367,472	334,002	△ 33,470
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	71,765	48,644	△ 23,121
有 利 子 負 債	103,696	109,326	5,630
そ の 他	106,168	81,513	△ 24,655
負 債 の 部 合 計	281,629	239,483	△ 42,146
株 主 資 本	71,937	81,149	9,212
評 価 ・ 換 算 差 額 等	△ 1,180	△ 870	310
少 数 株 主 持 分 等	15,085	14,239	△ 846
純 資 産 の 部 合 計	85,843	94,518	8,675
負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	367,472	334,002	△ 33,470

④連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	20年度第3四半期 累計期間	21年度第3四半期 累計期間	比較
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,774	△ 1,079	△ 2,853
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,079	△ 9,779	△ 700
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,184	5,334	6,518
為 替 換 算 差 額	△ 130	△ 2	128
現金及び現金同等物の増加減少額	△ 8,620	△ 5,525	3,095
現金及び現金同等物の期首残高	54,229	50,094	△ 4,135
そ の 他 増 加 減 少 額	△ 49	—	49
現金及び現金同等物の四半期末残高	45,559	44,568	△ 991